



平成 19 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 神鋼鋼線工業株式会社
 代表者名 取締役社長 水 口 征 之
 (コード番号 5660 東証、大証 2 部)
 問合わせ先 常務取締役総務本部長
 片 岡 滋 正
 (T E L 06 - 6411 - 1051)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 16 日の中間決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想について、下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期連結業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 16 日発表)	21,960	1,180	700
今回修正予想 (B)	22,166	1,362	607
増減額 (B - A)	206	182	93
増減率 (%)	0.9	15.4	13.3
前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	20,327	811	235

2. 平成 19 年 3 月期単体業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 16 日発表)	18,230	1,070	630
今回修正予想 (B)	18,390	1,105	432
増減額 (B - A)	160	35	198
増減率 (%)	0.9	3.3	31.4
前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	17,277	753	213

3. 修正の理由

売上高は、連結・単体とも前回予想を上回る見込みで、また損益面では、諸資材の高騰によるコスト増等に対しまして、販売価格の是正や徹底したコスト削減を図りました結果、経常利益も連結・単体とも前回予想を上回る見込みです。なお、単体において、保有する土地の一部について減損処理を行うことによって減損損失として 211 百万円を、また環境対策費用として 51 百万円を特別損失に計上することから、連結・単体とも当期純利益は前回予想を下方修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上